# 東京都立葛西工科高等学校 令和６年度　　教科　工業科　　科目　建築法規

教　科：工業科　　科　目：建築法規　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　4 組～　5　組

教科担当者：（ 4組：松原 ）　（ 5組：松原 ）

使用教科書：（　実教出版「建築法規」　）

使用教材：　（　建築基準関係法令集2024年度版　TAC出版　）

教科　工業科　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 建築の分野に必要である知識・技能・技術・態度を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 QCDSを思考・判断し、課題・作品に取り組む。

【学びに向かう力、人間性等】 PDCAを粘り強く実践し、学習改善につなげる。

科目　建築法規　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 建築の関連法規を包括的に学習し、建築物の構想に役立つ基本的な知識を身につけるとともに、建築法規のもつ意義や効果を理解する。 | 都市生活における安全や生活環境を取り巻く諸問題の解決をめざす建築法規のもつ役割について、自らの思考を深め、実際的な事例に対して適切に判断し、建築の計画や設計などに的確に表現できる。 | 建築法規が、建築物の安全や衛生を確保する必要性から多くの関係法規によって構成されることを、具体的な事例から理解させ、建築の計画・設計・施工・管理を行ううえで法令遵守の大切さを理解し、技術者としての倫理観を育成する。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | １．建築法規のあらまし<br>①建築法規の意義<br>②法規の体系と建築基準法<br>・条文の構成と法令用語<br>・性能規定のあらまし<br>③建築基準法の基本用語<br>・基本用語<br>・面積、高さ、階数の算定 | ・生徒の理解度を把握しながら、教科書に沿って指導する。<br>・建築法規に関する用語について、概要図を交えながら視覚的に理解できるようにＩＣＴを活用する。<br>・条文の読み方や用語の定義について、法令集のインデックスやアンダーラインを活用しながら理解させる。 | 【知識・技能】法令集を活用し、法令を的確に読み取ることができる。また、用語の定義を理解し、正しく解釈することができる。<br>【思考・判断・表現】建築法規で定めるルールや規則の成り立ちについて、国民の生命、健康及び財産の保護や公共の福祉の増進の観点から思考・判断し、法令遵守の大切さを表現することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】建築に関する専門的な用語について、法令集を活用しながら学習に取り組もうとする | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | ２．個々の建築物にかかわる規定<br>①一般構造の規定<br>・居室の採光（採光補正係数）<br>・居室の換気、石綿<br>・天井の高さ、<br>・階段、廊下、傾斜路の寸法<br>②構造強度の規定<br>・構造計算ルート<br>・耐久性等関係規定<br>・木構造（軸組長さ）<br>・鉄骨造<br>・鉄筋コンクリート構造 | ・室内環境、衛生、日常安全に関する規定について、具体的な事例を取り上げ、相互の関連を理解させる。<br>・構造設計と構造規定に関する基本的な事項を確認し、具体的な事例を定めた木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート構造ごとの構造規定を理解させる。<br>・条文の読み方や用語の定義について、法令集のインデックスやアンダーラインを活用しながら理解させる。 | 【知識・技能】個々の建物の構造、設備、通風や採光などに関する規定や各種構造の強度に関する規定について理解することができる。<br>【思考・判断・表現】制限がかかる数値が安全性や居住性の観点から思考・判断し、実際の建物にあてはめて表現することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】単体規定及び構造強度に関する専門的な用語について、法令集を活用しながら学習に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| 2学期 | ③ 防火と避難<br>・防火に関する用語の定義<br>・延焼のおそれのある部分<br>・内装制限<br>・防火区画<br>・避難経路（直通階段）<br>・避難設備<br>３．良好な都市環境をつくるための規定<br>・都市計画区域<br>・用途地域内の用途制限<br>・防火地域、準防火地域<br>・道路と敷地<br>・建築物の各部分の高さ制限 | ・防火と避難に関する建築の計画や設計に必要となる事柄について、具体的な事例を取り上げ、相互の関連を理解させる。<br>・集団規定の意義や目的や効果について、区域・地域・地区の概要と用途規制の目的、道路と敷地、容積率・建ぺい率の算定方法について具体的な事例を取り上げ、理解させる。<br>・条文の読み方や用語の定義について、法令集のインデックスやアンダーラインを活用しながら理解させる。 | 【知識・技能】防火と避難に関する用語や概念、集団規定に関する事柄について理解できる。<br>【思考・判断・表現】防火と避難に関する安全対策、集団規定に関する規制の概要を考察し、個別の建築物にかかる規制について検討して正しく判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】防火と避難、集団規定の基本的な用語や事柄について、実例に関連付けながら学習に取り組もうとする。 | ○ | ○ | ○ | 30 |
| 3学期 | ４．手続きなどの規定<br>・手続きに関する機関<br>・建築確認<br>・工事中の手続き<br>５．各種の関係法規<br>・建築士法<br>・建設業法<br>・良好な建築を促進する法規 | ・建築物の設計から完成・使用・除去に至る一連のプロレス、各種法手続きにかかわる機関や業務の担当者、建築確認が必要となる建築物について理解させる。<br>・設計と工事の段階にかかわる法規や、良好な建築を促進する法規に関する目的や概要について理解させる。<br>・条文の読み方や用語の定義について、法令集のインデックスやアンダーラインを活用しながら理解させる。 | 【知識・技能】設計や施工の業務にかかわりの深い関連法規や、建築物の安全性や快適性に関する関係法規について理解できる。<br>【思考・判断・表現】関連法規について、実際的な事例を思考し、適切な判断能力を身につけ、建築の計画や設計などに的確に表現できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】関連法規について幅広く関心を持ち、建築の計画や設計に実践的な学習に役立てようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |